

**製品名:** リン酸化 Smad2 (Ser255) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab00705

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 52 kDa; Observed MW: 52 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SMAD2 SMAD2; MADH2; MADR2; Mothers against decapentaplegic homolog 2; MAD homolog 2;
別名	Mothers against DPP homolog 2; JV18-1; Mad-related protein 2; hMAD-2; SMAD family member 2; SMAD 2; Smad2; hSMAD2
遺伝子 ID	4087
SwissProt ID	Q15796
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

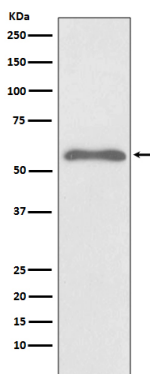
## 背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ショウジョウバエの遺伝子「mothers against decapentaplegic」(Mad) および線虫の遺伝子 Sma の遺伝子産物に類似したタンパク質ファミリーである SMAD に属します。SMAD タンパク質は、複数のシグナル伝達経路を媒介するシグナル伝達因子および転写調節因子です。

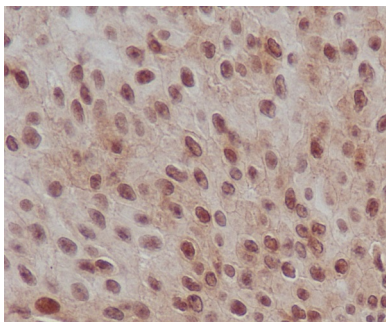
## 研究分野

シグナル伝達

## 画像データ



オカダ酸およびカリキュリン A 溶解物で処理した HeLa 細胞中の Phospho-Smad2 (S255) の Phospho-Smad2 (S255) 抗体を使用したウエスタンブロット分析。



リン酸化 Smad2 (S255) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト膀胱移行性癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。